事業番号　2023 - 文科 - 22 - 0419

令和5年度行政事業レビューシート　（文部科学省）

事業名	国際文化交流・協力推進事業		担当部局庁	文化庁	作成責任者
事業開始年度	平成14年度	事業終了（予定）年度: 終了予定なし	担当課室	文化経済・国際課	文化経済・国際課長 板倉　寛
会計区分	一般会計				
根拠法令（具体的な条項も記載）	文化芸術基本法第15条		関係する計画、通知等	文化芸術推進基本計画（第2期）（令和5年3月24日閣議決定）	
政策	12　文化芸術の振興		主要経費	その他の事項経費	
施策	12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実				
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-12_1.pdf				
事業の目的（5行程度以内）	国際的な要請や文化政策上の意義に基づく重要な国際文化交流・協力事業を実施することによって、諸外国との友好と相互理解を深める。				
現状・課題（5行程度以内）	近年、首脳間・大臣間の合意等に基づく国際文化交流が増加している中、文化政策上の意義や国際貢献の観点からの意義に基づき、国が責任を持って交流事業を実施する必要がある。このため、本事業では、これらの政府間の取決め等に基づいて開催される文化芸術発信事業や国際文化交流事業を実施する。 令和2年度以降冷え込んだ国際文化交流をコロナ前のレベルに回復していく必要がある。				
事業概要（5行程度以内）	日本と諸外国の首脳間や政府間で設定される周年事業等の機会において、文化政策上の重要性や国際貢献の意義等に基づき、国として対応が必要となるトップレベルの文化芸術発信事業や国際文化交流事業を行う。 具体的には、上記趣旨を踏まえ、国内外において、様々な分野の芸術公演、展覧会、国際会議等の各種事業を企画・実施する。				
事業概要URL	https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/yosan/pdf/93858001_01.pdf （15ページ）				
実施方法	委託・請負				
補助率等	-				

予算額・執行額（単位:百万円）（インプット）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
予算の状況	当初予算(A)	241.6	241.6	100.6	66.8	66.8
	補正予算(B)	-	-	-	-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
	前年度から繰越し(C)	107.6	106.9	-	-	-
	翌年度へ繰越し(D)	▲106.9	-	-	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	242.3	348.5	100.6	66.8	66.8
執行額(G)		97.8	282.8	51.9		
執行率(%) =(G)/(F)		40%	81%	52%		
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		40%	117%	52%		

令和5・6年度予算内訳（単位：百万円）

歳出予算項・目			令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)
（項）		文化振興費			-
	（目）	文化芸術振興委託費	66		
		諸謝金	1		
		委員等旅費	0		
		その他	1	67	
計(A)			66.8	66.8	

活動内容① （アクティビティ）	政府間の取決め等に基づいて開催される文化芸術発信事業や国際文化交流事業を実施する。具体的には、公演・展示等を実施する事業者を対象に、事業実施に必要な経費について、委託事業として支援する。□
↓	

活動目標及び活動実績①（アウトプット）

活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
政府間の取決め等に基づいて開催される文化芸術発信事業や国際文化交流事業の実施	実施件数。各年度の当初見込みは、前年度の事業実施件数。	活動実績	件	4	6	5		
		当初見込み	件	9	4	6	4	

↓ 成果目標①-1の設定理由（アウトプットからのつながり）	実施によって我が国の文化芸術関係者のグローバル化を定量的に認識するうえで、過去2年間（当該年度とその前年度）の本事業による国際文化交流イベントの相手国数（重複除く）を長期アウトカムとしてとして設定した。また、目標年度はポストコロナの状況となって５年程度となる令和９年度とし、目標は２０か国（全世界の国数の１割程度）とした。

成果目標及び成果実績①-3（長期アウトカム）

成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度
我が国の文化芸術関係者のグローバル化	過去2年間の本事業における参加相手国数（重複除く）。目標値は、20か国（世界の国数の約1割）。	成果実績	か国	26	13	5	
		目標値	か国	20	20	20	20
		達成度	%	130	65	25	

成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名（出典）/定性的なアウトカムに関する成果実績	R4年度5か国（中国、韓国、カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン） R3年度2か国（中国、韓国） R2年度13か国（アルゼンチン、ブラジル、中国、クロアチア、ハンガリー、イタリア、ジャマイカ、韓国、メキシコ、ナイジェリア、パラグアイ、セルビア、英国） R元年度15か国（ボリビア、ブルネイ、カンボジア、中国、ギリシャ、イラン、インドネシア、韓国、ラオス、ミャンマー、シンガポール、タイ、ペルー、フィリピン、ベトナム）
アウトカム設定についての説明	**アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由** –
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由 政府間の取決め等に基づいて開催される文化芸術発信事業や国際文化交流事業は、外交環境に依存する部分が大きく、我が国のみで相手国との交流計画を見込むことは難しい。

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等		
	名称	–
	URL	–
	該当箇所	–

事業所管部局による点検・改善

		目標年度における効果測定に関する評価（令和10年度実施）
点検結果	文化政策上の重要性や国際貢献の意義等に基づく文化交流事業を国が実施することは、我が国の文化芸術関係者のグローバル化において必要であり、様々な相手国との国際文化交流の実施の実績によって一定の成果を挙げていると思われる。また、事業実施の必要性が高く、資金投入の合理性を確保し、事業の充実に務めている。なお、国庫支出の在り方についても、他の機関等の協力を得て実施する場合は、効率的な執行となるよう協力機関等と情報共有をするとともに、委託事業者に証ひょう関係書類の提出を求め、適正性を担保している。	–
改善の方向性	引き続き、文化政策上の意義や国際貢献の観点からの意義に基づき、事業を効率的かつ効果的に実施するよう努める。	

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見

事業内容の一部改善	アウトカムが複数段階設定できないとしているものについて、事業効果を適切に測るために複数設定できないか、引き続き検討されたい。また、連続して不用額が生じていることから、不用額が生じたより詳細な要因を分析したうえで、予算額の見直し等を検討すべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善	事業効果を適切に測るためのアウトカムが複数段階設定できないか引き続き検討する。また、令和2年度末からコロナによる影響で落ち込んだ文化交流イベント実施回数のコロナ前への回復を目指す。

過去に受けた指摘事項と対応状況

公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ

–

上記への対応状況

–

その他の指摘事項

–

上記への対応状況

–

備考

–

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	409				
平成24年度	434				
平成25年度	398				
平成26年度	397				
平成27年度	394				
平成28年度	377				
平成29年度	385				
平成30年度	389				
令和元年度	文部科学省	–			0349
令和2年度	文部科学省				0351
令和3年度	2021	文科	20		0378
令和4年度	2022	文科	21		0381

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

文化庁　51．9百万円

諸謝金　 0.4百万円　を含む。

委託【随意契約（企画競争・その他・少額）】

A.実行委員会
（全2団体）
38.7百万円

B.一般財団法人
（全1団体）
1.8百万円

C.民間企業
（全1社）
11百万円

企画政府間の取決め等に基づいて開催される文化芸術発信事業や国際文化交流事業を実施

日本文化の海外発信事業を実施

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.

費　目	使　途	金　額（百万円）
雑役務費	新聞広告掲載、広告等業務、ブース出展料等	27.7
消耗品費	チラシ印刷、ポスター印刷、ノベルティ等	1
会議費	看板及び照明の設置等	0.1
計		28.7

B.

費　目	使　途	金　額（百万円）
雑役務費	音響業務、照明業務、公演運営業務	1
計		1

C.

費　目	使　途	金　額（百万円）
雑役務費	印刷製本費、デザイン費、編集費等	9
通信運搬費	国内外運搬費	1
人件費	進捗管理等	1
計		11

D.

費　目	使　途	金　額（百万円）
計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載　チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	法　人　番　号	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	契約方式等	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	東アジア文化都市2023静岡県実行委員会		東アジア文化都市事業【静岡県】（令和4年度分）普及啓発等実施業務	28.7	随意契約（その他）	1	100%	
2	日韓交流おまつり2022実行委員会		「日韓交流おまつり2022 in Tokyo」企画運営実施業務	10	随意契約（企画競争）	1	100%	

B

	支　出　先	法　人　番　号	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	契約方式等	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	一般財団法人民主音楽協会	6011105000291	中央アジア諸国・日本外交樹立30周年記念事業における公演実施業務	1	随意契約（少額）	-	-	
2	一般財団法人民主音楽協会	6011105000291	日中国交正常化50周年記念/レクチャーコンサートにおける公演実施	0.8	随意契約（少額）	-	-	

C

	支　出　先	法　人　番　号	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	契約方式等	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	株式会社講談社	5010001002592	JAXUARY英語版制作	11	随意契約（企画競争）	4	100%	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載						チェック		